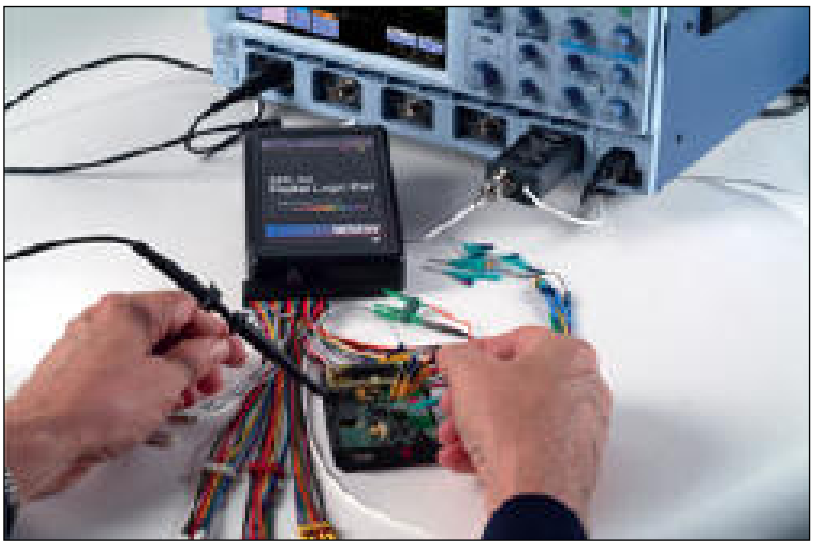
4ch+32ch ミックスド・シグナル・オプション

MS-32 簡易取扱説明書



2007 年 2 月発行
レクロイ・ジャパン株式会社

【目次】

１．　各部品の名称 …… 2

２．　準備 …… 2

３．　デジタル（ロジック）波形の表示 …… 3

(1)　デジタル波形の表示設定 …… 3

(2)　ロジックのしきい値の設定 …… 4

(3)　ロジック信号へのトリガ設定 …… 5

(4)　波形表示の工夫 …… 6

カーソル計測例 …… 8

パラメータ計測例 …… 8

1. 各部品の名称

(1) 32 チャンネル・デジタル・ロジック・ポッド
（MS-32 本体）

(2) 電源アダプタ

(3) USB 2.0 ケーブル（1.8m）

(4) オシロスコープ・インタフェース・
モジュール（1.5m）

(5) デジタル・リード・セット（267mm）

(6) ソフト・アクセサリ・ケース

2. 準備

オシロスコープの電源を入れる前に

(1) MS-32 本体（ポッド）の Power 端子に電源アダプタ、AC ケーブルを接続します。（ポッドの PWR ランプ点灯）

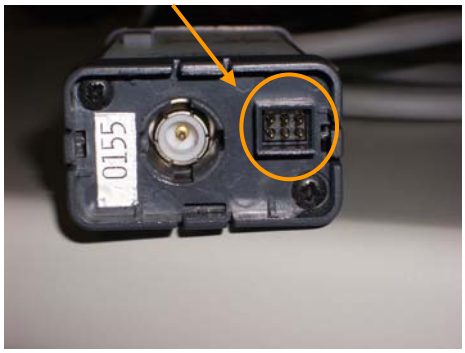
(2) デジタル リードをポッドに取り付けます。

(3) USB ケーブルを、オシロスコープの USB ポート（どこでも可）とポッドに接続します。

(4) オシロスコープ・インタフェース・モジュールのソケットを、オシロスコープ前面の EXT 入力端子に接続 し、（インタフェース・モジュールのソケット部 6Pin を オシロスコープの入力部の 6 穴に合うように接続）カチッと言うまでしっかりと押し込みます。

オシロスコープ 6 穴

インターフェース ソケット部 6Pin



(5) オシロスコープ・インタフェース・モジュールの SMB プラグ（金色）をポッドの TRIG OUT 端子に接続します。

(6) オシロスコープ・インターフェースの BNC プラグを オシロスコープ背面の Auxiliuary Outoput（BNC 端子）に接続します。

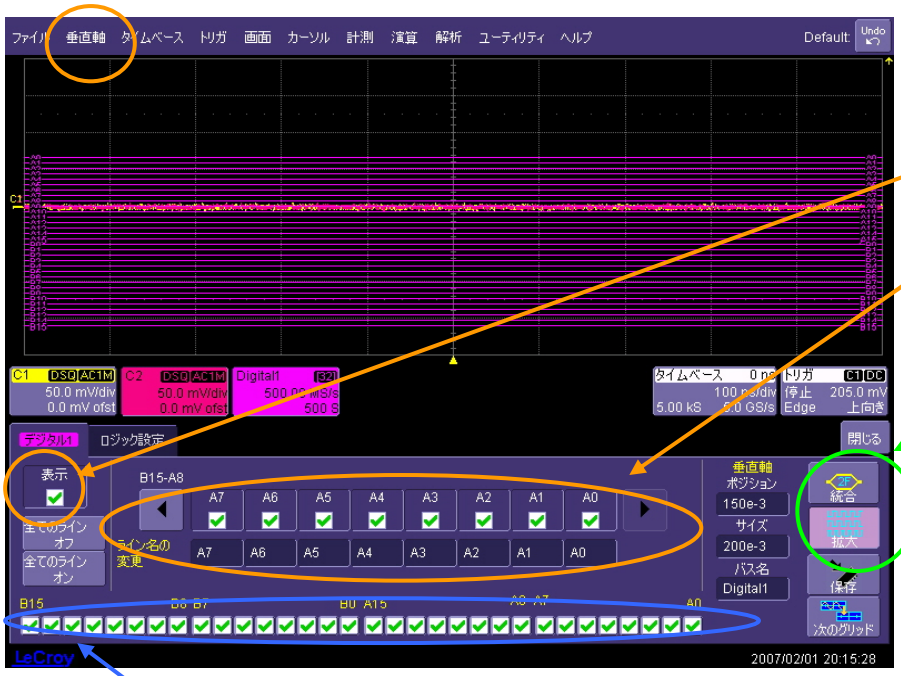
(7) SMBjacck （銀色）を デジタルリードに接続します。

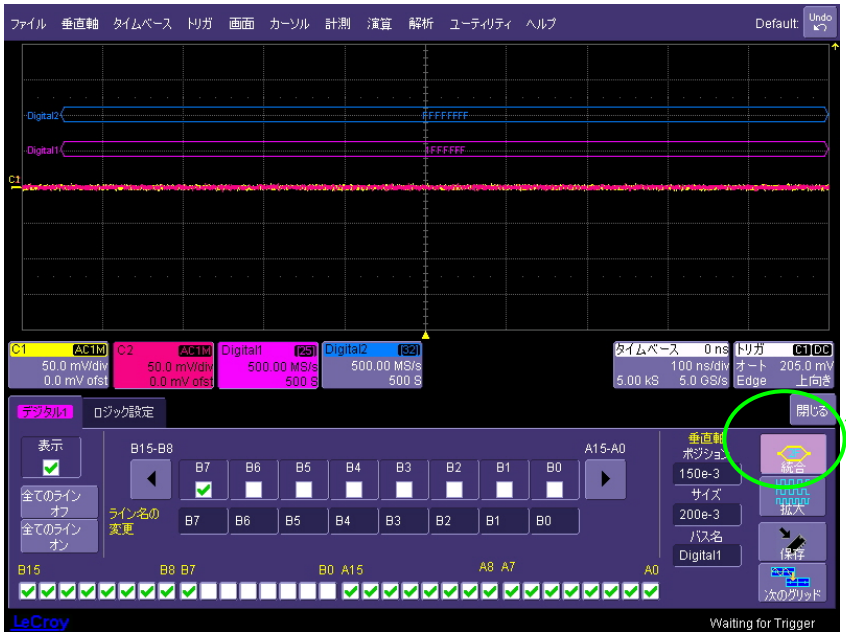
(8) オシロスコープの電源を入れて起動します。 これでオシロスコープの画面が表示されれば完了です。

3.　デジタル（ロジック）波形の表示

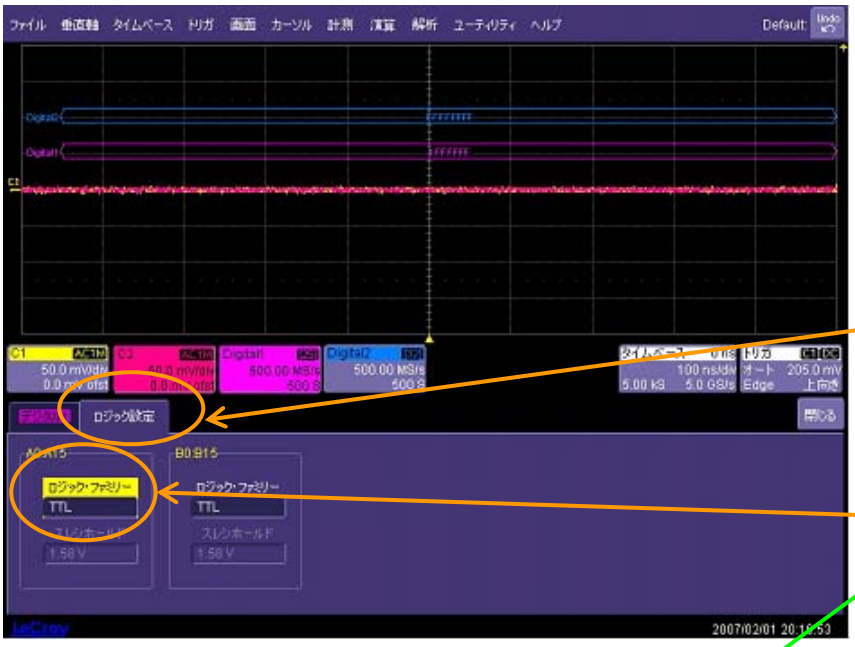
MS-32 を接続すると、オシロスコープではDigital1～4 のトレース（オシロ画面での ch 表示ボックス）に、32 チャンネル分までの任意のロジック信号のchを選択して割付表示ができます。ここではDigital1トレースに 32ch すべてのロジック信号を割付表示させてみます。

（1）デジタル波形の表示設定
ツールバーの"垂直軸"をクリックし、 ポップアップメニューの"Digital1"をクリックします。すると Digital1の設定メニューが表示されます。



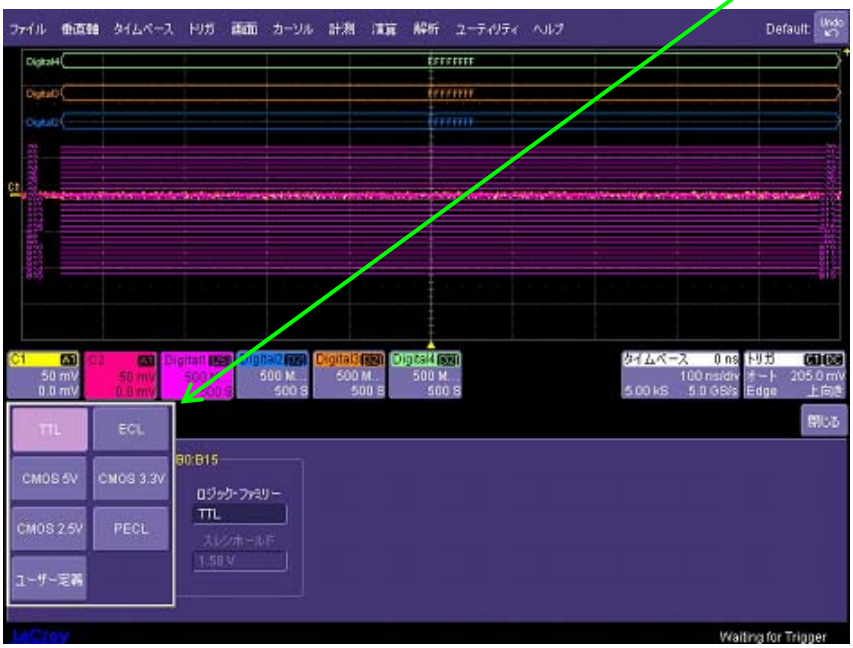


(2) ロジックの　しきい値の設定



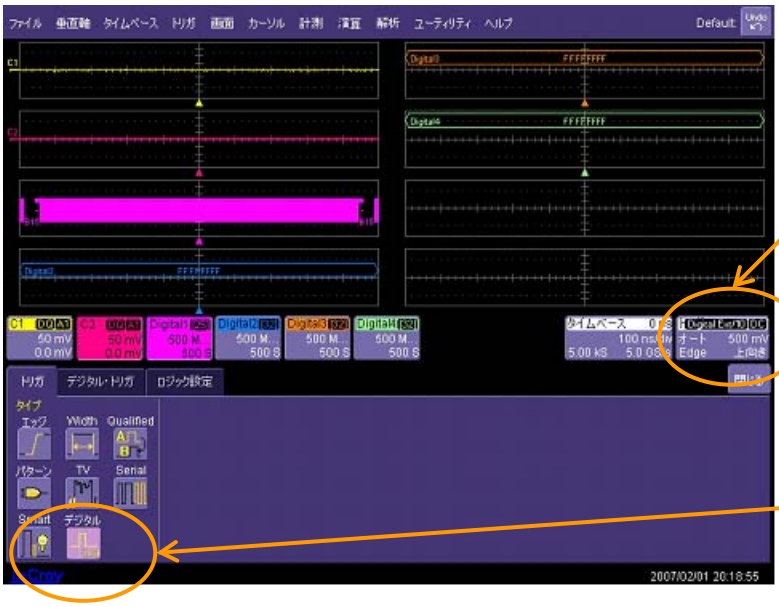
ロジック設定のタグをクリック。A0～A15、B0～16 の 2 つのブロックでそれぞれシキイ値を設定可能

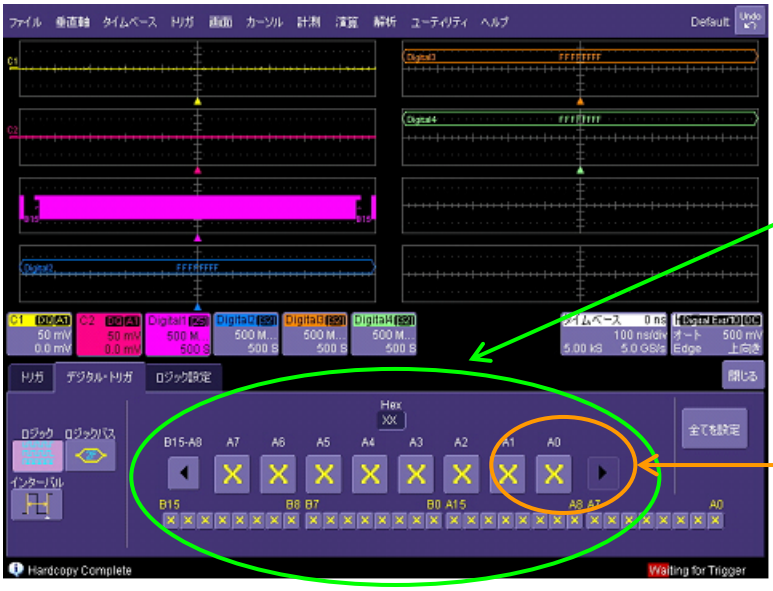
ここをクリックすると 6 種のシキイ値　またはユーザー定義で任意の値に設定可能



(3) ロジック信号へのトリガ設定

下記の手順で設定します。

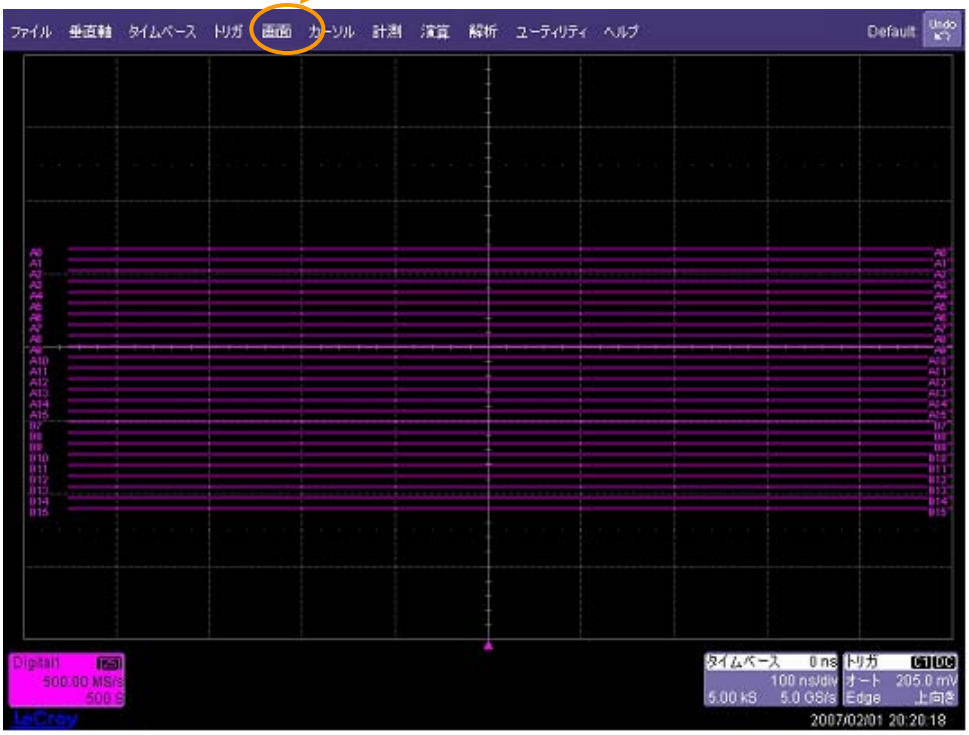




(4) 波形表示の工夫

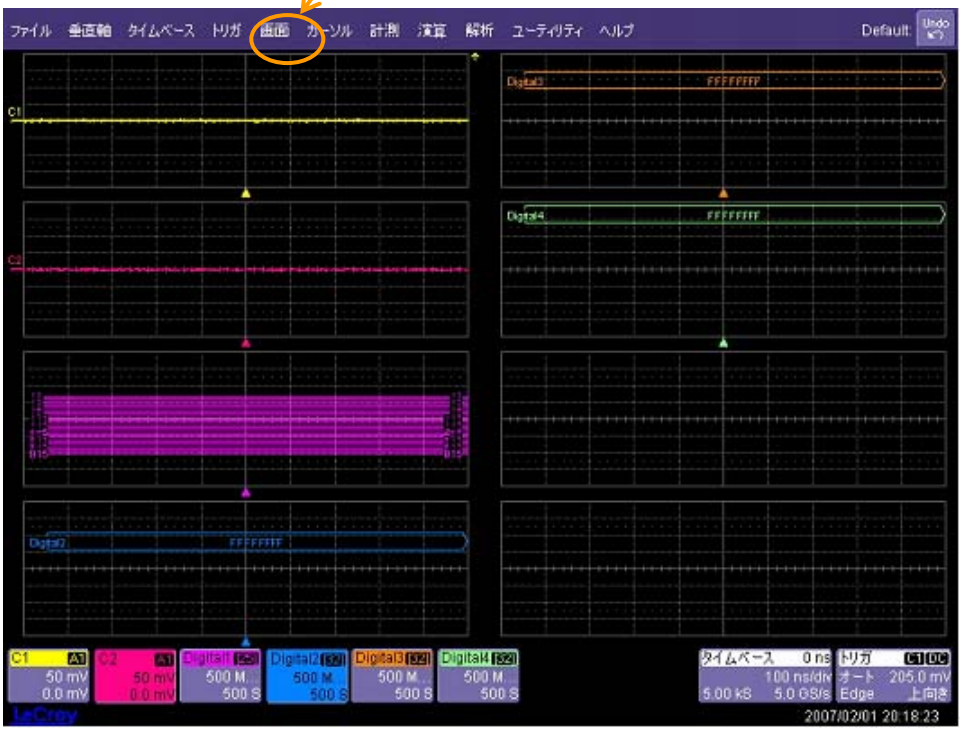
グリッド数の切り替え
ツールバーの”画面”をクリック → Single

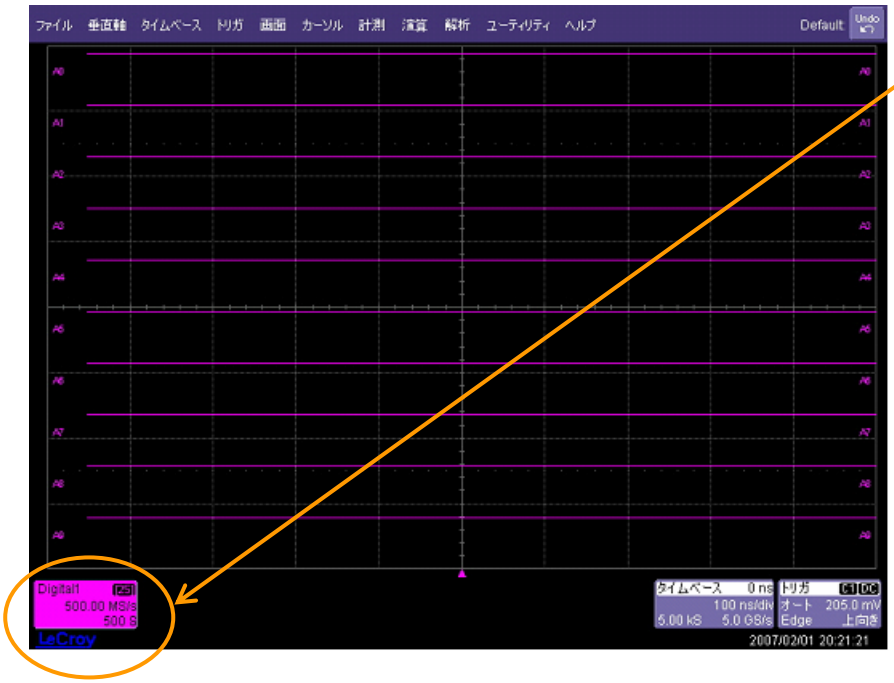
画面表示を 1 画面（Single Grid）標示



ツールバーの”画面”をクリック → Octal

画面表示を8画面（Octal Grid）標示



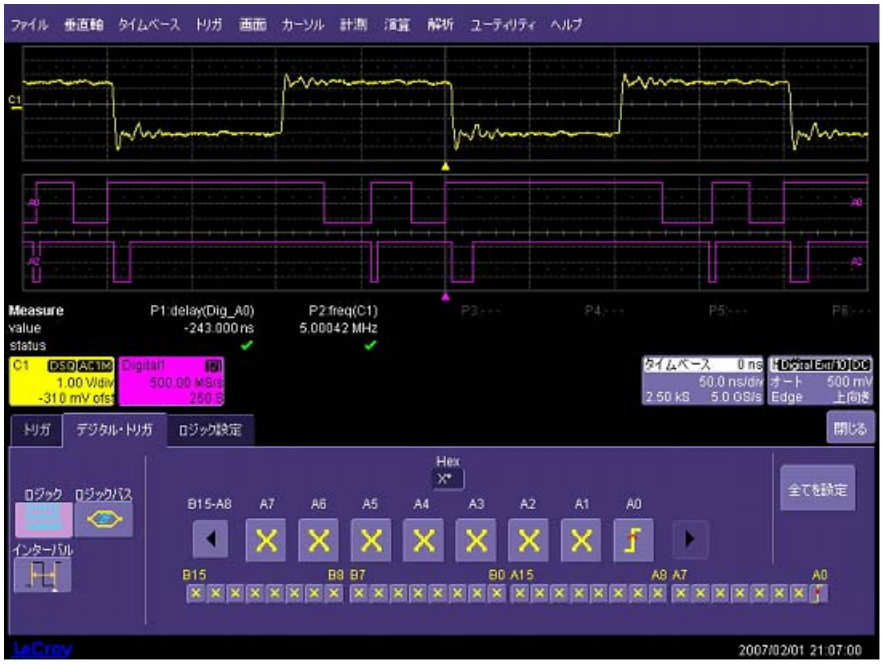


Zoom（垂直方向）

拡大するトレース
（図の場合は Digital1）を一度クリックしてから Digital1 を選択

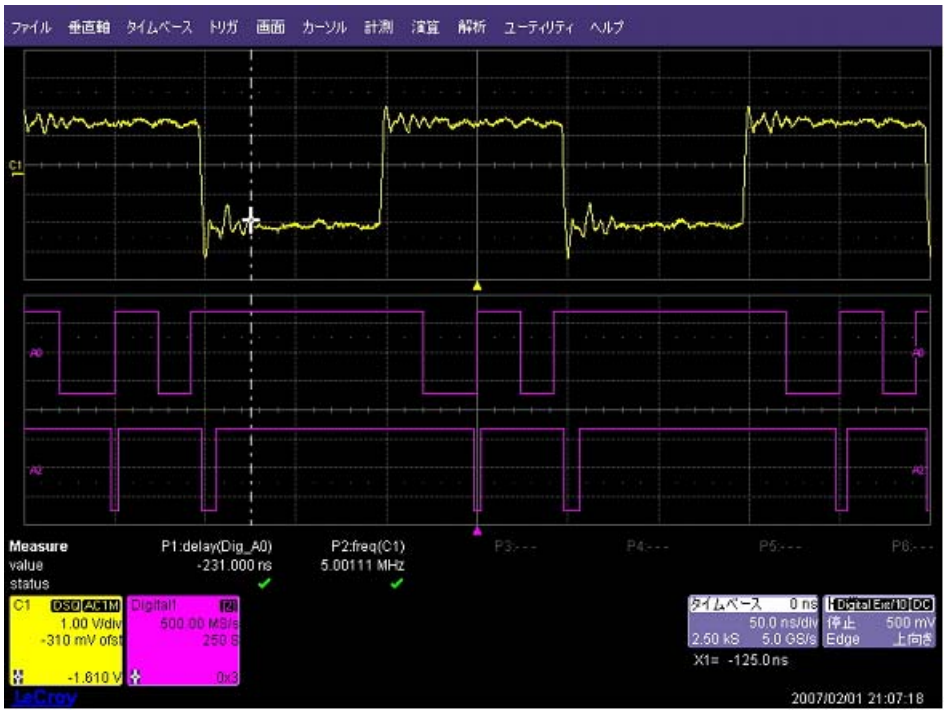
パネル前面の垂直方向の Zoom のつまみを回す

Zoom のつまみ自体を押すと Zoom を解除

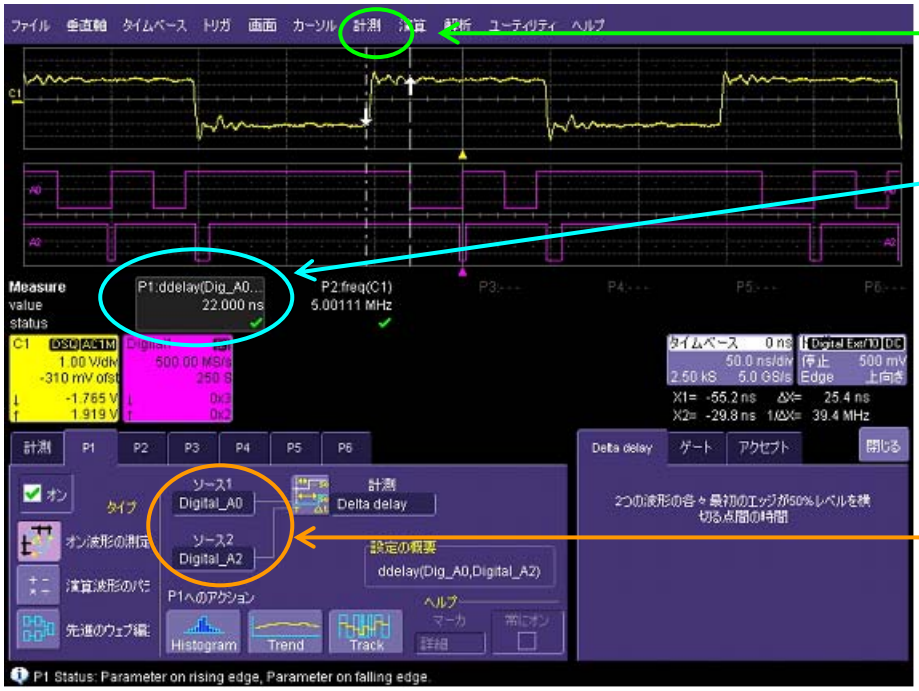


グリッドを 2 つ（Dual Gridにてアナログ信号 Ch1 と ロジック信号 Digital1）を同時表示した例

カーソル計測例



パラメータ計測例



"計測" クリックし、タグ"P1"をクリック

もしくは P1 自体をクリック

パラメータ1（P1）
設定メニューが表示

パラメータの対象にDigital信号も使える。